



2021年3月9日

各位

会社名 青山商事株式会社
代表者名 代表取締役社長
兼執行役員社長 青山 理
兼営業本部長
(コード番号 8219 東証第一部)
問合せ先 取締役兼常務執行役員
グループ経営本部長 山根康一
兼総合企画部長
(TEL 084-920-0050)

新中期経営計画『Aoyama Reborn 2023』に関するお知らせ

当社は、2021年度から2023年度までの3年間を新たな計画期間とする新中期経営計画『Aoyama Reborn 2023』を策定し、経営ビジョン並びに3年後の経営目標及び株主還元方針を決定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループを取り巻くビジネス環境は、生産年齢人口の減少や働き方改革に伴う働き方の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、オフィスウェアのカジュアル化や冠婚葬祭の簡素化等が想定以上に進みました。こうしたことから、当社主力アイテムであるスーツや礼服マーケットは、極めて大きなインパクトを受けており、コロナ収束後においても、この厳しい経営環境は続くと予想しております。そのため、これまで取り組んできたビジネスウェア事業の再構築プロジェクトに加え、一層の店舗の統廃合を進めると共に希望退職の募集による構造改革を実施してまいりました。このような環境の中、今後青山グループがお客さまから支持され、持続的成長を実現していくためには、更なるビジネスウェア事業の変革と挑戦を進めていくことが大変重要であると認識しております。

こうしたことから、新中期経営計画『Aoyama Reborn 2023』の策定にあたっては、当社グループの中長期的な目指すべき姿として、「一本足経営」から脱却し、「スクラム経営」を進めて行くことにより、成長を目指すことといたしました。

今回の中期経営計画は、その目指すべき姿の実現に向けて基盤作りの3年間と位置づけており、計画の最終年度である2023年度には、連結売上高2,000億円、連結営業利益110億円を達成する計画であります。

なお、新中期経営計画策定にあたりましては、新型コロナウイルス感染症による影響について、2021年内は一定程度残るものの、2022年1月以降、経済活動がほぼ正常化するという前提としております。

1. 中期経営計画『Aoyama Reborn 2023』の経営ビジョン

- (1) ビジネスウェア事業の変革と挑戦
- (2) グループ経営の推進
- (3) サステナブルへの取組

2. 中期経営目標(2023年度)

連結売上高	2,000 億円	(収益認識基準適用前:現行基準)
連結営業利益	110 億円	
連結当期純利益	80 億円	

3. 株主還元方針

今回の中期経営計画期間中(2021年度から2023年度まで)の株主還元につきましては、新たな経営ビジョンの下、ビジネスウェア事業並びに次世代事業への投資により成長を目指して参りますため、配当金を最優先として株主還元を行うことを基本に、連結総還元性向30%を目安とさせていただきます。

なお、2020年11月10日付公表の「業績予想並びに剰余金の配当(第2四半期末配当)及び期末配当予想に関するお知らせ」のとおり、2020年度(2021年3月期)の期末配当につきましては無配予想とさせていただいております。

株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

また、中期経営計画『**Aoyama Reborn 2023**』の詳細につきましては、2021年5月19日に開催予定の当社決算説明会(アナリスト・機関投資家向け)において、説明を行う予定です。なお、その説明会資料は、同日、当社ホームページに開示いたします。

以上